



スモールステップ



1月号

新年の挨拶、言語活動及び読書活動の充実について

校長 松井 栄人

新年明けましておめでとうございます。令和6年がスタートしました。心機一転、新しい年の第一歩を踏み出しましょう。1月は新年の始まりの月ですが、令和5年度を締めくくる3学期という大切な時期でもあります。卒業学年の皆さんは、新たな進学先、進路先に向けて、様々な準備をする期間となります。また、進級する皆さんは、それぞれの学年のまとめをしっかりと行ってください。目標に向かっていろいろなことに挑戦し、最後までやり遂げることで、大きな自信や力につながります。皆さんの可能性は心の土壌を耕すことから生まれます。

さて、児童・生徒にとって大切な自立と社会参加の基盤はコミュニケーション力であり、その力の育成のために学校生活では読書活動・言語活動の充実に向けて、国語の授業だけではなく全ての教育活動において様々な取組みを行っています。毎朝の挨拶や日直の司会等もその一例ですが、児童・生徒が興味・関心をもって主体的に活動するものとして、読書活動での読み聞かせは非常に有効なものです。本校では昨年度から校長を始めとして図書担当の教員が絵本の読み聞かせの動画をTeamsに保存し、いつでも閲覧できるようにしました。

書籍の宝庫でもある自慢の図書室は、2000冊を超える多様な書籍を入荷し、読書活動の充実に向けて努めております。気に入った本が見つければ必要に応じて貸出期間を設けて借りることもできます。今年度もPTA有志の方々からなる「図書ボランティア（図書ボラさん）」の皆様の御協力により、図書室の蔵書管理や環境整備を充実させています。本校の書籍は一冊一冊が透明フィルムによる外装がされていますが、この非常に手間のかかる作業の、大半は図書ボラさんが担っていただきました。また図書室の清掃や月替わりの壁面装飾のお陰で、本校図書室は子どもたちにとっても非常に居心地のよい部屋となっています。図書ボラさんにはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。保護者の皆様も来校の際には、ぜひ図書室にも御注目ください。よろしく願いいたします。

キャリア教育について

キャリア教育部主任 水澤 秀幸

新年を迎えるにあたって、キャリア教育のホットな話題について情報提供できればと思います。新型コロナウイルスの流行も落ち着き、本校でも校外学習や宿泊の行事もようやくリスタートできるようになってきました。それに伴い、買い物学習が始まり、電車学習もいよいよ始まる予定です。時代はICカードやバーコード決済など、キャッシュレスに向かう一方で、本当のお金の価値を知る機会がますます無くなってきていると聞きます。一律的なキャッシュレス化で実際にお金が見えず、毎回電子マネーなどで買い物をする様子を見た子供たちは「お金は無限にある」と勘違いする恐れがあります。今こそ、キャリア教育としての金融の学びや金融リテラシー（お金の知識、判断）の重要性が高まっていると言えます。

私の場合、小さい頃、近所に小さな駄菓子屋があり、店主と毎日のように10円、20円の駄菓子を買うやり取りを繰り返し、幼いながらもお金の価値を学んでいきました。キャッシュレス時代到来の真っ只中だからこそ、人を介したお金のやり取りの大切さと幼少期からの上手なお金との付き合い方で、豊かな人生を歩んでいけたらと思います。ご家庭では、子供たちがお手伝い等で得たお金を財布に入れ、お金のありがたみを感じながら、買い物に出かけていただけたらと思います。

